

ジュニアボランティアスクール：閉校式 —龍ケ崎市の災害管理：市の防災対策を知ろう—

夏休みの間、多くの子供たちがジュニアボランティアスクールに参加し、龍ケ崎市社会福祉協議会のお世話で、ボランティア体験学習を積んでももらいました。龍ケ崎中央ロータリークラブもささやかなご支援をさせて頂き、子供たちとの交流を図ることができました。年々参加者も多くなり、施設の高齢者とのふれあい交流を通してお年寄りとの付き合い方も学びました。ボランティアの体験学習には社会福祉法人「竜成園」の皆さんにご協力いただきました。

今回の閉校式は「我が町龍ケ崎の防災について」龍ケ崎市役所・消防署の職員の方々に丁寧なご指導と施設のご案内を頂きました。内容豊富な一日でしたが、写真を通してのご紹介にさせていただきます。

日時 平成 27 年 8 月 18 日（火） 13：30～16：00

場所 地域福祉会館：市役所防災室、龍ケ崎消防署



▲防災の重要性のおはなし



▲日本は地震大国・龍ケ崎市は



▲市役所前の地震計案内



▲市の防災センター内部紹介



▲市の屋上の発信施設案内



▲龍ケ崎消防署案内



▲救急車の内部説明



▲感想発表会：活発だったよ



▲修了証書授与式

⇒裏面に、子供たちの感想を掲載しました。

■子供たちの感想■

- *いろいろな体験ができてよかった。
 - *龍ヶ崎のことも教えてもらえた。
 - *市役所の防災室の見学はとてもよかった。
 - *地震計についても初めて知った。
 - *市役所にある 110 番の見守りの方たちに会えてよかった。
 - *5 人ぐらいの三交代制でやっていることも知った。
 - *静かに説明も聞けた。
 - *消防自動車にもいろいろな種類があることがわかった。
 - *救急車のなかも初めて見た。
 - *たくさんの計器があって驚いた。
 - *貴重な経験ができた。＜貴重な、ではどんな経験？＞具体的にはわからない。
 - *トイレにも行きたかったが我慢した。
 - *見学中にも救急車の出動があり、見ることでよかった。
 - *市役所の屋上にも上れてよかった。
 - *市役所の屋上には太陽光パネルもあった。
 - *防災無線での放送の録音も聞けた。
- 等々、が子供たちの感想として発表されました。少し意をくんでまとめてあります。

【編集後記】

今年のスクールも、海老原会長、川上奉仕プロジェクト委員長にも御挨拶頂く機会を得て、ロータリーの地域活動の一環として一定の成果が得られたと考えます。すべての活動にお付き合いできませんでしたが、城出幹事の世話による財団補助事業「セカンドステップ」プログラムも一定の成果を得ることができました。

本日のジュニアボランティア閉校式には常陽新聞の記者・杉本さんも参加してくださいました。私も第 8 分区分時代の名詞になっていましたが、名刺交換をさせてもらいました。14 名の小学生に 2 人の中学生が参加してくれました。龍ヶ崎はとても環境に恵まれたところだそうです。防災面から見ても整備された自治体という意味も含まれているのでしょうか。

最後に、ジュニアボランティアを代表して飯嶋君に池野辺課長補佐より参加証書が授与されました。

以上